

2011

4

卷之二

St. Louis
94

この春、アトガ旋風を巻き起す。

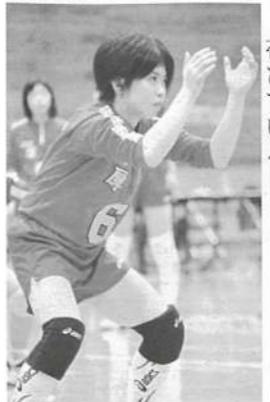


「優勝」までの軌跡

「第36回苦小牧バレー部まつり」(会長杯)は、苦小牧市で昨年の10月9～10日の2日間の日程で行われ、苦小牧総合体育馆が舞台となつた。

厚真中などの今大会優勝チームと有望チームが、北海道バーレーボール協会が主催するバーレーボール2次キャンプへ参加。そのキャンプにおいて、バーレーボールと生活態度、両面において厳正な審査が行われ、最終的に選考されれば春の全道大会の出場権が与えられる。

今回、全43チームの中から適正な審査をくぐり抜け、全道大会出場にふさわしいチームと認められ、北海道バレー部まつり(会長杯)から全道大会の推薦状が2月7日に届き、2年ぶりの出場を決めた。少人数ながらも、練習を工夫してつかんだチャンス。日々の練習にも、ますます熱を帯びている。



「悲願」の全道大会出場へ

9日(土)、1回戦緑陵中、2回戦明野中を10点以内の点差で抑えた。大会2日目、前年度優勝の沼ノ端中学校との準決勝を控えていた。よく練習試合をする相手ということもあり、弱点も研究され苦戦はしたが、ポイントをしつかり押さえ、どうにか決勝へコマを進めた。

決勝の相手は、和光中学校。決勝前に7人の部員で気合いの円陣を組み、これでチームがひとつにまとまつた。

序盤、サーブでのポイントで有利に試合を開幕し、星野・古本の両レフト選手が切れ味鋭いスペイクをたたき込み、反撃をねじ伏せた。2セット目、新チームの初優勝が見えてきた。選手たちは油断の隙をみせずに冷静に戦況をとらえ、対応していく。相手レセーバーの裏をかくようなフェイントでかき回し、最後はエースの田代にボールを集め、突き放しに成功した。

部員全員でつかみ取った勝利。ジュニアキャンプ、そして悲願の全道大会への切符を、選手たちは自らの手で見事勝ちとつた。

特集

DOMY BEST

~厚中バレー部強さの秘密~

チームコンセプト：一生懸命・強気・ねばり
 チームのかけ声：一球入魂
 選手自身のかけ声：my coach is myself
 チームカラー：赤
 チームの愛称：PUPPYS(子犬) → 犬種は厚真犬

Topic チーム事情

3年生が抜けた後、新チームのスタートは7名の部員。このうち約半数は、中学校からバレー部を始め、一人の怪我も許されない苦しい状況にあった。保護者の協力により、冬期、自家用車で送り迎えをお願いし、1秒でも多くの練習時間を確保し日々工夫しながら練習を行い、土日は練習試合に出ることで、人数のハンデを乗り越えている。平均身長は154cmと決して恵まれていないが、足りないとこには、努力とスピードをあげることで補っている。



苦小牧バレー部まつり (会長杯)	
1回戦	厚真中 2 - 0 緑陵中
2回戦	厚真中 2 - 0 明野中

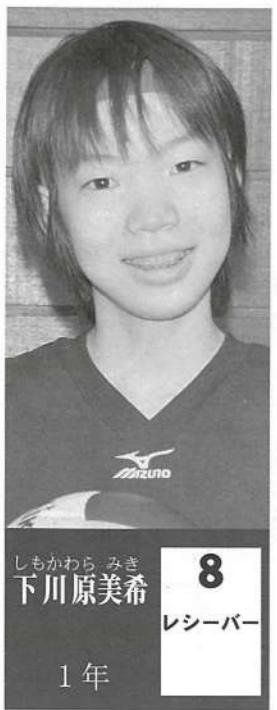
苦小牧バレー部まつり (会長杯)	
準決勝	厚真中 2 - 0 沼ノ端中
決勝	厚真中 2 - 0 和光中

※対戦相手はすべて苦小牧のチーム

Topic エピソード

今大会の2週間前、監督の娘さんが心臓の手術を受けなければならなく、チームにつくことができなかつた。柳本監督不在の中、サブの顧問の道源先生や、濱口校長先生、ひまわり少年団の立石さん・嶋さんに協力をお願いし、この危機をのりこえようというムードが広がつた。もちろん7人の選手たちの心はひとつ、「頑張っている先生の子供のために、私たちが絶対に優勝をプレゼントする!」という合い言葉を胸に、監督不在の2週間を何とかのりこえた。





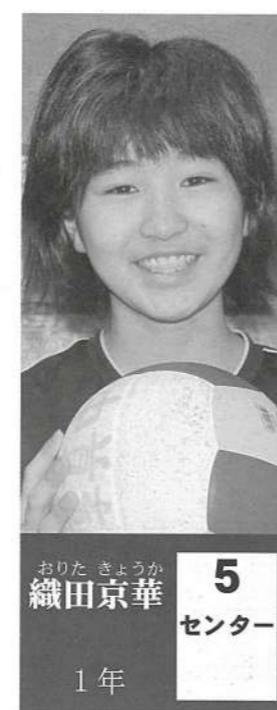
しもかわらみき
下川原美希
8
レシーバー
1年



ふるもとかずさ
古本上総
7
レフト
1年



みかみさやか
三上紗鷹佳
6
ライト
1年



おりたきょうか
織田京華
5
センター
1年



たしろせいな
田代聖那
3
センター
2年



ほしのあき
星野亜樹
2
レフト
2年



みやざきさや
宮崎沙耶
1
セッター
主将
2年

「優しい努力家」
バレーボールをはじめるにあたって、自ら両親を説得し入部しました。小さいながらも、レシーブでチームの戦力を支えています。レシーバーのポジションのため、別メニューで練習を行う機会もあるが、一人黙々と努力しているのがこの選手。

誰もがみんな、日ごろの頑張りを認めている貴重な選手です。

私は大きな声を出して、レシーブをセッターへあげられることを目標に頑張ります。大きな声を出すことは、日ごろの練習などから注意されることが多く、自分自身の大きな課題でもあるからです。全道大会は高さがあり、動きが素早く、声の大きな良いチームがたくさん参加すると思いますが、厚中の一員として、すべての面で負けないように頑張りたいです。

「切れ味」
レシーブは、相手スパイカーの特徴をうまくつかみ、最後まであきらめないしつこさがある選手。守備の面では星野選手とこの古本選手が厚中の根底を支えている。相手のエースをレシーブで封じ、自分も切れ味鋭いスペイクで相手をかき回すプレースタイルは、厚中の目指すバレーにもってこいの選手です。

私の全道大会での抱負は、「挑戦」です。この言葉は、私自身の今年1年のテーマにも掲げた二文字だからです。コートでは、相手の選手をかき回すようなプレーを心がけ、取れそうにないボールに対しても、決してあきらめないで拾うようなプレーを心がけたいと思っています。チームが掲げる「全道ベスト4」を目指し、悔いのないように一生懸命頑張りたいです。

「スーパー1年生」
今では、中学校からバレーを始めたとは誰も思わないかも…。運動神経抜群で吸収力の早さと、持って生まれたセンスでプレーのコツをつかむのが得意な選手。フェイントやワンタッチボールの処理は、瞬間に床上すれば飛び込んでくるようなスピードの持主で、厚中の粘りをしっかりと支えています。

私は、チーム目標である全道大会ベスト4に入りたいです。私はレシーブが苦手なのですが、「心がつながれば、ボールはつながる」という言葉を大切にして全力で頑張ります。私たちは、一生懸命・強気・粘りの3つのテーマをもち、その3つの気持ちがあふれるようなバレーをして、札幌大谷中学校などに負けないような、粘り強さを見せられる大会にしたいです。

「未完の大器」
泥くさいブロックと速攻を大きな武器として、一年間で急成長をとげてくれました。明るく物怖じしないその性格で、チームに笑いや元気、勇気をあたえてくれる選手。

まだまだプレーは粗削りだけれども、はまつた時のプレーは何とも大物をおわせます。のびしろたっぷりの未完の大器です。

「エース」
高いジャンプ力と筋力を兼ね備え、それでいて両利きという器用巧みなレフティーのエースであり、攻撃面の中心選手です。攻撃のバリエーションはチーム1多彩で、クイックタイプから、オーブンタイプのトスまで、器用に打ちこなします。

時には、力で振り切り、時には、ブロックを利用し、得点感覚に優れる魅力的なスペイカーです。

「心臓」
バレーボールにおいて、最も重要なサーブレスやスパイクレスを一手に引き受ける守備の要として、相手にとっては非常に危険なプレーヤーとなります。チームNO1の大声で、守備の指示を明確に出し、それでいて攻撃面でのスピードある展開力も豊かに兼ね備え、コートを自由に駆け回る、見ていて楽しい選手です。

「全道大会では、メダルを取る！」を目標にして、日々の練習を頑張っています。個人的にはエースとして攻撃の中心となり、周りから注目されるような活躍をしたいです。それと同時に、キャプテンを支え、チームを一つにまとめられるように頑張ります。厚真中は身長が低く絶対的なエースではありませんが、身長が低いなりに工夫し、粘り、相手をかき回すようなバレーをしたいです。そして、全道中に「厚真」の名を広めたいと思っています。

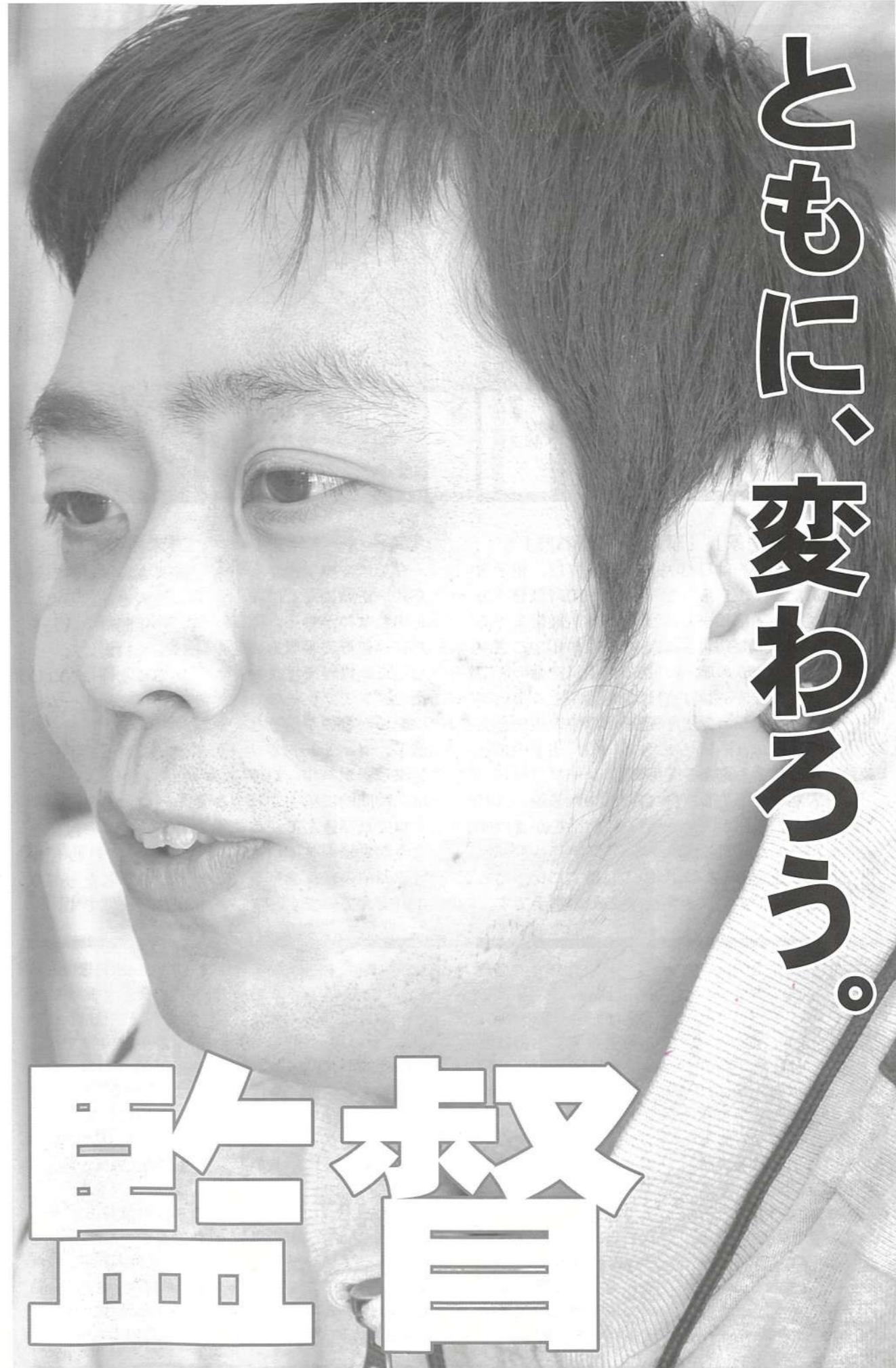
「司令塔」
今年の厚中のバレーは、センターを中心とした高速コンビバレー。厚中の司令塔として、右へ左へと鋭いトスを回すなど変幻自在にボールをさばける選手です。

キャプテンとして、チームを牽引する姿勢を持つつも、自らが一番努力する選手。笑顔がとても印象的で、真剣なまなざしとガッツのある雰囲気をもった選手です。

VOICE OF KEY PERSON



私たち、この全道大会のために弱点を見つけ、そこを中心に練習してきました。私自身、この全道大会に出場するのは2回目ですが、今年はキャプテンとしてチームを引っ張っていく立場であるため、前回と比べて緊張します。目標は、「首にメダルをかける！」なので、それを達成できるよう、5月まで部員全員ひとつの目標に向かって、頑張りたいです。また、個人としても技術と心、両面で成長して全道大会にのぞみたいと思います。



とともに、変わろう。

一球入魂。



2年ぶりの全道出場はベストを尽くした結果だが、監督の意識は影響しているのだろうか。そして、柳本流のバレー哲学とは? 日々成長する選手たち。監督に話を聞いてみた。

何もしてあげられないのです。自分の頭で考える、場の流れ、相手の呼吸、ゲームのリズム、対応していく力、切り抜けの力。すべてが、普段の練習や学校生活で気にして考えていかなければいけないと、強く思っている。

自分の目標がなんなのか? 今、自分はどこまでできているのか、そういうプロセスを、自分で考えてステップアップする全てを、見届けてほしいと願っている。

厚真中学校に赴任して、一番考えていることは、自立した選手を育てること。監督の熱意や指導力で、チームは引っ張られる。強くもなれるし、勝つための準備、お膳立ては、用意できる。そう信じている。しかし、本当に厳しい局面では、ベンチから何もできない、

壁の乗り越え方を自分で発見できたら、その選手はその先もきっと、いろいろな局面で現状を打破するような気がしているからである。

「マイコーチ イズ マイセルフ」。勝手に自分が提示した言葉であるが、少しずつ、今、選手

大輔



大

たちは変わり始めている。

2年生のバレーノートには、毎日隙間なく書き込まれ、様々な角度からチームの現状や課題が分析されている。また、部員のうがい、手洗いを徹底させたり、準備片付けがどうすれば短縮できるかを考え、自ら役割分担を決め、組織を回しはじめている。1年生も昼休みにボールの空気圧を測つたりと、言われなくとも機転がきくような柔軟な行動が増えてきている。

この部は日々成長し、みんなが頑張っている。そんな組織の一員として私の仕事は、監督として選手たちの目的地までしっかりと導き、その目的地において自らの意思で一步踏み出してくれる選手を信じ、その瞬間を見届けることではないかと思つていてる。



特集 “DOMY BEST”

柳本

特集 "DOMY BEST"

編集後記

柳本監督は「バレー部も人材育成機関の一つだ」と話していた。子どもたちに話を聞いても、その意図は伝わっていなかった。だから中学生になり同じよう

厚中バレー部にとって保護者の支援は欠かせない。練習は平日はもちろん、土・日・祝日もほぼ丸一日行う。その車での送り迎えに始まり、大会・遠征時の配車。そればかりか遠征に同行して部員の身の回りの世話をしたり、合宿の食事のお手伝いなんかも。宮崎さんと厚中バレー部とのつき合いは、姉の彩さんから妹の沙耶さんと5年になる。「子どもたちに思いきりバレーができるよう、保護者は力になりたい」と話す。

「大会どころか練習試合も含め、試合という試合、私たち保護者は必ず応援に行きます。泊まりの試合でも。これは小学生の頃の『ひまわりバレー』からそうだったのだから中学生になり同じよう

つと明るい町になるはずだ。



みやざき 宮崎 美香さん
(本郷)



厚中バレー部にとって保護者の支援は欠かせない。練習は平日はもちろん、土・日・祝日もほぼ丸一日行う。その車での送り迎えに始まり、大会・遠征時の配車。そればかりか遠征に同行して部員の身の回りの世話をしたり、合宿の食事のお手伝いなんかも。宮崎さんと厚中バレー部とのつき合いは、姉の彩さんから妹の沙耶さんと5年になる。「子どもたちに思いきりバレーができるよう、保護者は力になりたい」と話す。

「大会どころか練習試合も含め、試合という試合、私たち保護者は必ず応援に行きます。泊まりの試合でも。これは小学生の頃の『ひまわりバレー』からそうだったのだから中学生になり同じよう

つと明るい町になるはずだ。

について行くのですが、特別なことなんて全く思いませんでした。よく柳本先生には感謝されるんですけどね。昨年4月から柳本先生が監督になつて、さらに良い方向にチームは変わったと思います。まず練習量が格段に増え、内容がとつても濃い。2年前に在籍し、現在は高校のバレー部に所属する姉がついていないほどです。でも、やらされてるんじゃないんですね。子どもたちひとり一人が体に染みついている。礼儀作法もそう。今はもう、娘は家でもボールを触ってるほどです」

期待

「今でこそチームは一つになつてますが、新チームになつてしまらくは、大変だったと思います。2年生3人は、ひまわりバレーからの経験者。1年生は初心者がほとんど。スタート地点が違つたのでお互にジレンマが。そこから子どもながらに、それぞれの立場を理解し合い、切磋琢磨しながらチームが一つにまとまつたのではないでしょうか。やつぱり柳本監督の存在が大きかつたと思います」。

「私たち保護者の願いは二つ。まずは、2年前のベスト8を上回る『ベスト4』を目指してほしい。そして来年の中体連、札幌で行われる全道大会に連れて行つてほしいですね。もう一つは、今後も中学バレーを楽しんでもらいたい。今、バレーを通じて一生の友に出会えている。この絆は深いと思います。これからも厚中バレー部を子どもに負けない元気な声で応援します」。

支える人

厚中バレー部を支えている二人にお話しを伺った。
「子どもたちと喜びの瞬間は同じなんです」

「バレーを通しての人づくり」
「学生時代、自分もバレー・ボールをやつてたんです。ひまわりバレーラーの指導は平成11年から。最初はお手伝い程度でしたが、指導者がいなくなり、平成16年に監督をついています」。

「それからというものの生活が『ひまわりバレー』一色。年間、25日ぐらいは練習していますね」。

「家族の理解には感謝です。『子ども・保護者・指導者』、みんなが生懸命。ひまわりバレーはそういうチームなんですよ」。

「これまで指導してきた、僕はプロセスも大事だと思いますが、それが以上に勝ちにこだわってきました。常に結果を求めてきたんです」。

「この絆は深いと思います。これからも厚中バレー部を子どもに負けない元気な声で応援します」。

「勝利」を。そうすること、喜びも感動も、そして子どもたちの成長も大きなものとなるのです。バレーを通じて『人づくり』をやつていかなければならない。その思いで子どもたちに指導しています。ベストを尽くすことが技術の向上にもつながりますし、人間としての成長にもつながるものだと思います」。



たていし けいき 立石恵輝さん
(本郷)

1番を目指して

「決して恵まれているとはいえない環境でありながらも、子供たちは常に全力投球。そんな彼女たちを応援できることに喜びを感じています。今年2年生3人はひまわりバレー時代、全道で準優勝に輝きました。ぜひ中学生となつた今回の全道では、1番=優勝を目指して頑張ってほしいですね。今は将来的に、今年2年生3人が抜けてしまうと『部存続』が危機的状況。それがちょっと心配です。まだ見ぬ素敵な仲間、ニューフェイスにも期待したいですね」。

「このチームが町に存在していることが誇りではないでしょうか」。

「今は全力投球。そんな彼女たちを応援できることに喜びを感じています。今年2年生3人はひまわりバレー時代、全道で準優勝に輝きました。ぜひ中学生となつた今回の全道では、1番=優勝を目指して頑張ってほしいですね。今は将来的に、今年2年生3人が抜けてしまうと『部存続』が危機的状況。それがちょっと心配です。まだ見ぬ素敵な仲間、ニューフェ

「フォーラムビレッジへようこそ！」

梶谷明広さん家族が居住第1号、あこがれの田舎暮らしを実現

町が昨年11月から分譲を開始した新興住宅地「フォーラムビレッジ」への居住第1号となる、苫小牧市の中学校教諭梶谷明広さん(34)家族が3月4日に役場を訪れました。今回は記念となる第1号として、町の特産品セットをプレゼント。フォーラムビレッジは豊かな自然に囲まれた閑静な住宅地で、今年度は53区画を販売し子育て世代からシニア世代と幅広い層をターゲットにしています。

梶谷さん夫婦は島根県出身で北海道に移住して7年目。奥さんのみゆきさんは「北海道らしいスケールの大きな土地でゆつたりと暮らし始めたかった」と話し、「フォーラムは見た瞬間に『一目ぼれでした』と明広さん。北海道での定住を決断し終の住み処を求め、様々な土地を探し歩いた梶谷さん家族。この春から中央小に通う長男の征矢くんは「広い庭でいっぱい遊びたい」と新生活に胸を膨らませていました。



役場を訪れ宮坂町長から特産品を受け取る梶谷さん家族（上）

多彩な味付けに来場者驚く 「食の工夫展」

J Aとまこまい広域女性部厚真支部（沼田麗子支部長）が主催する「第45回食の工夫展」が3月17日、総合福祉センターで行われ、テーブルいっぱいにアイデア料理41品が並べられました。この日の来場者は約30人。

開会式で沼田麗子支部長は「時代は『食』です。今回も農産物を利用した料理がテーマ。お互いに参考にしてご家庭の食卓に並べてみては」とあいさつ。枝豆のおはぎや大根のかつ、かぶのハスカップ漬けなどアイデア料理のあまりの美味しさに、来場者は舌を巻いていました。



卒業祝いに“バイキング給食” 生徒おいしい笑顔

町学校給食センターでは3月9日、厚真・厚南中学校の3年生に卒業記念のバイキング給食を提供しました。メニューはズラッと17品目で、全メニューを食べると1239カロリーに。主食の焼きおにぎりや焼きそば、エビフライ、カレーぎょうざ、クレープなど美味しい色とりどりのおかずが並びました。厚真中学校の齊藤愛莉さんは「いつもより品数が多くて、いろんな味を楽しめました。鶏肉の料理とゼリーがおいしかったです。もう少しで給食が食べられなくなると思うと寂しいですね」と話していました。

3月のまちの話題

税のポスターコンクールで本町中学生4人が総合振興局長賞を受賞



スタードームで「3町ソフトテニス大会」
第30回胆振東部3町親善ソフトテニス大会が3月6日、あつまスタードームで行われました。今年は30回目となる記念の年。町内外から23人が参加し白熱したラリーを繰り広げました。今大会には最高齢80歳の熟練プレイヤーもお目見え。高橋代表は「歩くことに困っている人に車椅子を届けたい」と子ども達に呼びかけていました。

奥州藤原氏が北海道に!? 常滑産のつぼが宇隆から



「歴史的発見」と語る町教委乾哲也学芸員

約50年前に宇隆の公民館敷地内で出土したつぼが、愛知県常滑産の中世陶器第2期（1150～1174）のものとわかりました。青少年センター郷土資料コーナーで「須恵器」として展示されているものを、平成20年に東海大学の准教授が口縁部が打ち欠かれていたところや、遺跡の立地状況から奥州藤原氏との関連性を示唆。その後、中世史に詳しい大学教授・学芸員など専門家に写真や实物を送るなどして調査した結果、越前焼と常滑焼に絞り込み、つぼの形や厚さ、焼き具合・粘土の色から常滑産の可能性が高いことが判明しました。また、常滑焼が岩手県平泉で大量に見つかっていることから、奥州藤原氏が交易ルートを持っていた可能性も指摘されており、鎌倉時代以前の北海道史に新たな1ページが加えられることになりました。



こつこつ貯めたリングプル 中央小児童が寄贈

厚真中央小学校（石井告美校長）児童会がリングプル集めで、全校児童や地域住民に呼びかけながら約110キロを回収し、郵便局員などで構成するボランティアグループ「あつまっふる」に手渡しました。あつまっふるは、リングプルを集めて換金し、車イスを必要とする施設に贈っています。

高橋代表は「歩くことに困っている人に車椅子を届けたい」と子ども達に呼びかけていました。



アイデア料理に驚く来場者

北海道が行う第25回全道中学生の税をテーマとしたポスターコンクールで、厚南中の保田英子さん（2年）、折坂楓華さん（1年）、厚真中の高橋恭祐くん（3年）、松崎結花さん（3年）の4人が胆振総合振興局長賞に入賞しました。入賞した生徒に3月8日は厚真中で、また、18日には厚南中に苦小牧道税事務所長などが訪れ、賞状や副賞が伝達されました。伝達後、厚南中の折坂さんは「入賞を聞いた時は驚きました。自然と未来をテーマに描きました」と笑顔を見せ、厚真中の松崎さんは「入賞は嬉しいです。キャッチコピーは自分でも気に入っています」と話していました。



厚南中の保田英子さん
厚南中の折坂楓華さん



厚真中の高橋恭祐くん



厚真中の松崎結花さん



中島結衣さん（厚南中2年）に栄誉賞

スピードスケートで活躍する厚南中学校2年の中島結衣さん（富野）が3月28日、青少年センターで町教育委員会から栄誉賞を受けました。平成21年に栄誉賞と銘打ってからは初の受賞者。この日中島さんは、お母さんと及川校長先生とともに出席し、宮西教育委員長から記念の賞状を受け取りました。昨年は町体育協会優秀競技者賞にも輝いています。

「今後もスケートの力を伸ばし、将来はオリンピックを目指して頑張って」と宮西教育委員長から激励を受けた中島さんは、「受賞はうれしい。来年の全国大会では自己ベストを越えたいです」と話していました。

栄誉賞を受賞し笑顔を見せる中島さん（中央）

東日本大震災 厚中生徒が募金活動

東北地方太平洋沖地震の被災者を支援するため、厚真中学校は3月22日、こぶしの湯など4カ所に1・2年生43人が立ち大きな声で被災地支援を呼びかけました。この募金活動は生徒会が自主的に企画。手づくりの募金箱と被災状況を伝える写真のポスターを手に、「ご協力をお願いします」と声をからし、次々と寄せられる善意に子どもたちは「避難中の人は生活に困っていると思う。少しでも助けになりたい。早く普段の生活を取り戻してほしい」と話していました。約1時間半で集まった23万8800円は、厚真町共同募金委員会を通じて被災地に送られます。



募金を呼びかける厚中生徒



下村さん（上厚真）の君子蘭見ごとに。

下村榮一さん（上厚真）のお宅で3月15日、君子蘭があざやかな花を付け、ご家族の目を楽しませています。盆栽や花が趣味だと話す下村さん。自宅にあるコレクションの数はなんと60種類以上。

君子蘭は、南アフリカの平原が原産で日本には明治時代に渡来しました。特徴としては肉厚の葉とオレンジ色の花を咲かせます。下村さんによると本来開花後は茎が枯れてしまいますが、今年は枯れることなくアズキ色の種を3つ付けたそうです。君子蘭の見事な咲き誇りに、下村さんは満面の笑みを見せっていました。

笑顔の下村さんと君子蘭

任（農業委員会事務局主任）渡辺誠▷まちづくり推進課事業推進G主任（総務課主任）中村真吾▷町民福祉課町民生活G主事（まちづくり推進課事業推進G主事）森田綾

▷道派遣▷篠原拓也（産業経済課農業水産G主任）

▷北海道からの派遣職員

▷産業経済課商工観光林業水産G主査 輿水昌明

派遣を解く▷北海道経済部総務課主査 川畠千

▷新規採用（4月1日付）▷産業経済課商工観光林業水産G主事 宮久史▷町民福祉課健康推進G主事 高畠美奈

▷退職（3月31日付）

▷加藤恒光（町民福祉課長）▷岡部公（農業委員会事務局長）▷津田祥子（町民福祉課主幹）
厚真町人事

町職員の人事異動

※（ ）内は前職、Gはグループ

4月1日付で町部局等の人事異動が発令されました。町長部局の組織体制の中で、産業経済課の農業水産グループが農政グループに、商工観光林業グループが商工観光林業水産グループへとグループの見直しが行われました。

厚真町人事

▷異動（4月1日付）▷町民福祉課長（上厚真支所長）高田芳和▷産業経済課参事（産業経済課農業水産G主幹）遠藤秀明▷上厚真支所長（産業経済課参事）新飯田治▷町民福祉課子育て支援G主幹《京町保育園副園長》（町民福祉課子育て支援G主査）飯坂一子▷町民福祉課健康推進G主幹（まちづくり推進課企画調整G主幹）矢幅敏晴▷まちづくり推進課企画調整G主幹（まちづくり推進課企画調整G主査）青木雅人▷産業経済課農政G主幹（産業経済課商工観光林業G主査）加藤克彦▷総務課総務人事G主査（総務課総務人事G主任）中島壮一▷町民福祉課子育て支援G主査《宮の森保育園副園長》（町民福祉課子育て支援G主幹）細井恵子▷町民福祉課地域包括支援センター主査（町民福祉課地域包括支援センター主任）龍崎ひさえ▷町民福祉課健康推進G主査（町民福祉課健康推進G主任）宮本幸世▷産業経済課農政G主査（産業経済課農政G主任）宮本慎也▷産業経済課農政G主

▷異動（4月1日付）▷議会事務局主査（議会事務局主任）田中咲詠

▷厚真町教育委員会人事

▷異動（4月1日付）▷生涯学習課学校教育G主査（町民福祉課町民生活G主査）木戸達也▷生涯学習課社会教育G主査（生涯学習課社会教育G主任）乾哲也

▷厚真町農業委員会人事

▷異動（4月1日付）▷農業委員会事務局長（農業委員会事務局主幹）中田守▷農業委員会事務局主査（議会事務局主査）蛇池克広

まちの話題 plus

これはうまい！鹿肉料理など大好評 「地域メニューを考える試食会」

厚真調理師会（加藤秀雄代表）が3月2日、こぶしの湯あつまで「地域メニューを考える試食会」と題して行われ、地元食材を用いた新メニューがテーブルいっぱいに並びました。試食会には、町内飲食店主など約20人が出席。町のグリーンツーリズム事業の一環で、同会が地場の農畜水産物を使った地域メニューを開発し、食による町の活性化を目指しています。これまでに「エゾ鹿カレー風味ジンギスカン」を商品化。

今回は鹿肉を使った料理を中心に、カレーラーメンやビビンバ、かき揚げ丼など新メニュー13品が登場しました。参加者からは「鹿肉がやわらかくて美味しい」と大好評。後日、価格や美味しさを尋ねたアンケートの集計結果は、1位「鹿肉メンチカツガーリックライス」、2位「カレーと鹿肉メンチカツライス」が選ばれ、新メニューとして検討されます。



地元食材を用いた新メニュー 13品が並ぶ



出発式で激励を受ける派遣隊の5人

被災地に消防職員5人を派遣

東北地方太平洋沖地震による総務省消防庁の派遣要請を受け、胆振東部消防組合消防本部（中川信二消防長）の隊員5人、高規格救急車1台を被災地に派遣しました。同消防本部では3月16日に出発式が開かれ、宮坂管理者が「健康管理をしっかりと行い、被災者のために頑張ってきてほしい」と激励。派遣隊の藤原隊長は「被災地の復興に向けて力添えできるよう頑張ります」と力づよく出発宣言を行い、隊員らは食糧や装備品を積み込んで出発しました。災害による同消防本部の道外派遣は初めて。派遣場所は、宮城県石巻地区を予定。派遣期間は概ね7日間となっています。



ノルディックウォーキングを体験する参加者

ドームで「ノルディックウォーキング」

町主催の「ノルディックウォーキング体験会」が3月24日、あつまスターダームで行われ町内から約40人が参加しました。ノルディックウォーキングは北欧生まれのスポーツ。ひざや腰に負担をかけずに心肺機能や全身の筋力を強化できます。この日の体験会には大滝ノルディックウォーキング協会事務局長の藤田隆明さんを講師に迎え、昼・夜の2部構成。参加者は歩き方の基本を教わった後、実際にポールを使ってノルディックウォーキングを体験。藤田さんは「日ごろ運動不足の人が運動をするきっかけに。笑顔で楽しく歩いて」とにこやかに話していました。



学生を前に学長の宮坂町長があいさつ

平成22年度高齢者大学修了式

町高齢者大学修了式が3月30日、総合福祉センターで行われました。22年度の学生数は72人で、1年間を通じて月1回のペースで健康づくり、軽スポーツ、料理、交通安全など様々なテーマで学習を深めてきました。修了式では、学長の宮坂町長が5人の学生に皆勤賞を授与した後、「皆さんのように、生涯にわたって学習することは人生をより豊かに、そして地域を明るくする。これからも勤勉な性格を持ち続け、若者をリードしてほしい。新年度も新たな気持ちで入学してください」と学生たちに呼びかけていました。

I LOVE

私の大切な家族



裕子さんに抱かれるハナオ

ハナオ ♂ 11歳
(犬・ポメラニアン)
豊沢 大垣俊昭さん家族

「息子が大学を卒業して就職のため、家に帰ってきたんです。なんとその後ろには小さな影が…。ポメラニアンのハナオでした。息子いわく『自分が結婚して出でても寂しくならないように』。でも本当は、犬好きの自分が欲しかっただけなんですよ」と笑顔の裕子さん。

ハナオは内弁慶。家では休むことなく動き回る元気者だが、一歩外に出るとすっかり大人しくなるという。

「私がごはん支度を始めたら、大好きな野菜を食べに台所へ来るんですよ」と裕子さん。「息子が目を離したすきに、飲みかけの缶ビールを両手で押さえて飲んでたのには、さすがに驚きましたね」とハナオはアルコールもいける口だ。「子どもたちが巣立った今、主人とはハナオの話題が尽きません。連れてきてくれた息子と我が家の三男坊ハナオに感謝です」とやさしく笑った。

ペット

びと
厚真人

人本郷高畠美奈さん(24歳)

「信頼される『保健師』に。」

「小さい頃の私は、いたずらっ子でお調子もの。いつも4つ上の兄を追いかけていました。あまりのしつこさにある時、「ついてくるな」と怒鳴られたことも。それだけ、当時は兄の存在が私の中で大きかったのかもしれませんね」と笑顔の高畠さん。昨年11月に行われた採用試験を突破、4月1日付で町保健師として採用された。「吉小牧で過ごした学生時代は、小・中とバケット部に所属していました。実はこれも兄のマネ。始めたきっかけは兄がやっていたからでした。小・中とともにチームは弱小、地区で一番といついいほど。練習は吐くまで走るほど頑張ったのに、結果がついてこなかつた。でも勝ちにこだわるようなチームではなかつたんですね。いつも和気あいあいとした雰囲気でしたから。キャブテンを任せていた私は、こう思つてたんです『つらい時も、楽しい時も一人じゃない。仲間がいてくれる』。すでに、天性のやさしさを持ち合わせた頑張り屋さんは、保健師への道を歩み始めていたのかも。吉小牧の高校を卒業後、札幌の看護専門学校に進んだ。

「私の母も保健師でした。母は仕事を忙しく、小学生の頃、学校行事に来てくれなかった。寂しかったですね。他の子はみんな来ててくれたのに。その姿を見ていたので、私は保健師にならないと昔は思つてたんです。ところがある時、祖母が倒れてしまい、もう一人で生活できない状態になってしまった。そんな祖母に心温かく接する母、その時を境に改めて母を見つめ直し、そして心を動かされたんです。私も『保健師になろう』と晴れて保健師として厚実の地に足を踏み入れた高畠さん。この町の印象を「試験の前に町の雰囲気を自分の目で確かめよう」と何度も足を運んだんです。広くてゆったりとしている。皆さん温かい人ばかりで、穏やかに暮らしますね、大好きです」と白い歯がこぼれる。気分転換にギターを弾くという高畠さんは、「まだまだ保健師として未熟です。今は、町民の方や身近にいる先輩に逆に守られています。私は相手の立場になる時、つい先走って考えてしまうことがありますので、焦らず相手の話にきちんと耳を傾けようと。何年後かには、先輩保健師の皆さんみたいに、地域の人々に愛される保健師になりました」と笑顔で話す高畠さんだ。

ペット、本を紹介してください。お気軽にまちづくり推進課企画調整グループまで (☎27-3179)

本

私の出会った素敵なお本

「くじけないで」

柴田トヨ著

美里酒井善美さん

「この本は、98歳のかわいいおばあちゃん詩人がつむぎ出す、みずみずしい言葉いっぱいの詩集です。読んで目からうろこが落ちました。いくつになっても、女性の感性と向上心を持ち続ける柴田さんはステキですね」と笑顔の酒井さん。若かりし頃の自分や息子に対しての思い、短い文章ながらも凝縮され、またその奥に感謝の心がはっきり見えるという。実はおばあちゃんの酒井さん。作者を見た瞬間、とっさに自分のおばあちゃんを思い出し、思わず両手をダブルらせた。

『あなたはI』という作品を読んだとき、これからは前向きに物事を考えようと。私は失敗するとついウジウジしてしまう。それまでの努力も大切なんですよね。私の何倍もの時間を過ごしてきた作者の言葉は、説得力があって心に優しく響きました」と話す。本は購入するものの、すぐに読むことを挫折してしまう酒井さん。今回は、コーナー出演の要望があり大慌てて読んだそうだ。「小学生の頃は、読書好きだったんですけどね。これからは少しずつ読んでいこうかな?」と笑った。



人のうごき

3月1日～3月31日届出分

★誕生おめでとう (1人)

新町 堂前 佑貴くん
(父一洋介さん・母朋子さん) 3/5

★いつまでもお幸せに (1組)

本郷 西谷 和典さん
一戸 あゆみさん 3/20

★ごめい福をお祈りします (5人)

朝日 内山 勝枝さん 97歳 2/28
幌里 三上喜久子さん 81歳 3/11
本郷 石村田鶴子さん 58歳 3/20
上厚真 高山 昇さん 77歳 3/26
本郷 板橋美江子さん 89歳 3/29

マチの善意

●社会福祉協議会へ寄付

- 朝日 内山 仁一さん
- 本郷 上門 麗子さん
- 旭川市 北海道グリーン工業㈱さん
- 桜丘 専厚寺婦人会さん
- 厚和 加藤ふじ恵さん
- 苫小牧市 高山 昌三さん

(おことわり)
上記は、窓口などで、広報紙への掲載についての確認ができた方を掲載しています。

キッズ5月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報

月	火	水	木	金
2 開放日	3 休館日	4 休館日	5 休館日	6 開放日
9 「Hello えいご！」開放日	10 開放日	11 あそびの広場 『動物ぼうし』 ※前日までに予約してください！	12 開放日	13 開放日
16 開放日	17 開放日	18 びよひよ広場	19 開放日	20 開放日、保育園ホール開放
23 「Hello えいご！」開放日	24 開放日	25 あそびの広場 『ゲコゲコかえる』 ※前日までに予約してください！	26 子育て講座 「ソフトエアロ」 ※予約要	27 開放日、午後はおもちゃ洗いのため休館
30 開放日	31 開放日	毎週水曜日の午後はサークル活動利用日です。お母さんたちの集まりにご利用ください（予約が必要です）。		

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページはこちらからどうぞ！
厚真町ホームページ <http://www.town.atsuma.lg.jp/>
→トップページ→教育・文化→子育て支援センター

*利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00
 *『びよひよ広場』 第3水曜日の午前中（予約はいりません）
 0～1歳までの赤ちゃんとご家族が対象です。赤ちゃんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。
 *『あそびの広場』 第2・4水曜日の午前中
 1歳～就学前までの赤ちゃんとご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びを取り入れ、親子で楽しみましょう。
 *『Hello えいご！』 開催日の午前中（メラニー先生が来てくれます）
 遊びながら英語に触れることができます。年齢に関係なくお越しを！
 *開放日には、お気軽に遊びに来てください。
 *電話相談（9:30～17:00）・来所相談（10:00～16:00）・予約、そのほかお問い合わせなどは

☎27-2438（直通） 子育て支援センターへ!!

ホツと ひといき

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に『図書カード』をプレゼントします。

問題 さて、ここは町内のどこでしょう？

（写真）

▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。

▶しぬ切り（当日消印有効） 4月28日（金）

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120 厚真町役場 広報クイズ係（FAX 27-2328）

【3月号の答え】 18人

【3月号の正解者】 応募者は10人で全員正解。抽選の結果当選者には後日賞品を発送します。

クイズ・ここどこ？

みんなの声

- こんな記事を読んでこう思った。
- こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328

3月号の広報紙に、私の弟の名前が載っていたのでびっくりしました。
(7歳・女性)

3月号の表紙を見ながら、子どもたちの笑顔が最高でした。歴史と伝統がいつまでも心の中に残り様々な思い出があることを忘れず、旅立つんですね。
(50代・女性)

ママも、子どもも大満足！『笑顔』大歓迎の空間へ集合！ママ友同士で気軽に応募して！

HAPPY BIRTHDAY
月生まれ
4

笑顔募集中！
誕生日の記念に、お子さんのステキな笑顔を紙面に飾ってみませんか。締め切りはお誕生月の前月10日ごろ。満3歳から6歳までの赤ちゃんの写真を募集します。5月生まれの方は、4月22日㈮までにお電話ください。（締切厳守）

▶まちづくり推進課
広報担当
☎27-3179



中島 藍音くん⑤
H17. 4. 12 (本郷)



藤岡 祐人くん⑤
H17. 4. 13 (表町)



みんなの
声

木曜音楽会



厚高インフォメーション

ふみ読む月日重ねつつ

高校生活の三年間は、おおよそ千日あります。この、厚高での千日の最後を飾る晴れの行事は、いうまでもなく卒業式です。

三月一日、第三回卒業証書授与式が挙行されました。

この日、男子一八名、女子一七名の計三五名が、社会に旅立つていきました。

入学当初は、それぞれが好き勝手な行動を取っていたけれども、だんだんとお互いを思いやることができるようにになった。そして今では胸を張って、最高の学年だと言えるようになった。また、今日の日を迎えることができたのも、周りの人たちの支えがあったからこそ。卒業生たちは、こうして共通の思いがあつたようです。涙の中の卒業式でしたが、心温まる式を行うことができました。

卒業生たちに幸多かれ、と願つてやみません。

今回の卒業式を終え、これまでの卒業生徒数の合計は一三一七名。定時制時代の卒業生を加えると、一九七八名になります。そして来年には、「厚高OB」が、二〇〇〇〇名を超えることになるでしょう。



142

**わたくしの知っている
あつま**

文芸あつま ◆短歌◆

ホルスタイン誌の「牛舎の窓」とふコーナーに娘のエッセー載るが嬉しき（浜厚真 山田 志津）
わが庭を日課のことく通りゆく「マグロ」といふ名のとなりの猫は（本町 飛谷 文子）
雪融水撥ね上げてゆくダンプカー下校の子らの奇声聞こゆ（新町 金本 年子）

（あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十六号』から抜粋）

厚真町商工会では、一年前からインターネットを通じて、厚真町の魅力や情報を発信しているのですが、ご存知でしたか？ 今回から広報あつまからも発信させていただく事になりましたので、よろしくお願いします。（厚真町商工会ブログ <http://ameblo.jp/shokai-aizatama/>）

みなさん、厚真町の事、どれくらい知っていますか？ 住んでいても知らないことが沢山ありますよね。私もそのひとりなのですが。ここから何か、みなさんに厚真町の事を少しでも伝えられたらと思います。まずは、「食」から♪

厚真是、お米、お野菜、お肉なんでも美味しい。厚真町に引っ越してきた方は、よく太ります。特産品のハスカツ、じゃがいも、ジンギスカンはご存知ですか？ その特産品を使つた料理を現在、いろんな団体が研究・開発されているはご存知でしょうか？ 厚真町内の飲食店でも新メニューが続々と登場しています。どんな新メニューがあるかは、行ってからのお楽しみ♪ 自分の足で探しに行つて楽しいですよ。せつかくですので、厚真町で美味しいものを食べて幸せたりしませ

今別れの時 飛び立とう 若い 力信じて 大空に 未来信じて はずむ

厚真中全校合唱曲「旅立ちの日に」より

校長先生から贈る言葉

中学校生活は夢と希望に満ち溢れている。自分を見失うことなく、くじけず進んでほしい。小さな努力を積み重ね大きな成功をつかんでください。



上厚真小学校（横山守校長）では、男子9人、女子2人計11人が校長先生から卒業証書を授与されました。式では11人が声を合わせ校歌を熱唱。在校生、保護者に温かい目で見守られながら6年間の思い出いっぱいの学びやを後にしました。

3/19 上厚真小学校卒業証書授与式

園長先生から贈る言葉

今年1年いろんな思い出をつくったと思います。小学校に行ったら、「早寝早起き朝ごはん」をしっかり守ってください。そして、楽しい学校生活を送って。



京町保育園（園長・加藤恒光町民福祉課長）では、男子8人、女子9人計17人が元気いっぱいに遊んだ保育園を巣立ちました。卒園児一人一人が「いつも送り迎えをしてくれてありがとう」とお母さんお父さんに感謝し、お花を渡していました。

3/26 京町保育園卒園式

3/13 厚真中学校卒業証書授与式

厚真中学校（濱口明雄校長）では、第22回卒業証書授与式が行われ、男子16人、女子8人計24人が晴れやかに卒業。卒業生を代表して生徒会長の高橋恭祐くんが在校生や保護者、お世話になった先生などに向かって心に響く答辞を述べました。



校長先生から贈る言葉

本校で培った不撓不屈の精神を今後の人生で生かすと同時に、オンリーワンの個性と人として不变的な品格を見つけながら、これから的人生を歩んで。

校長先生から贈る言葉

未来への大きな希望や喜びがある半面、別れの悲しさなどもあり、「感無量」な面持ちでしょう。これからもどうか、自分らしく生きていってほしい。

まちおこし奨励事業を
実施しています

町では、団体やサークルなどが自
主的、主体的になって取り組む事業
を支援するため、「厚真町まちおこ
し奨励事業」を実施しています。

■補助対象事業

- ①まちおこし事業
- ②人材育成事業
- ③特産品開発事業
- ④文化活動

⑤そのほかまちおこしと認めた事業
※ただし、団体の経常的運営費、
營利を目的とするもの、入場料を
徴収するもの、また、事業費が5
万円未満のものは対象にならない
場合がありますので、事前にお問
い合わせください。

■補助金の額

補助対象経費の3分の2以内
で、1事業の補助金限度額は、30
万円までです。

■事業の申し込み期限

第1期／5月20日（金）、第2期
／8月19日（金）、第3期／11月18
日（金）、第4期／1月20日（金）

■申請・問い合わせ先

役場まちづくり推進課企画調整
グループ
(☎ 27-3179)

厚真ライオンズクラブ事務局 連絡先☎27-2155 「こいのぼり寄贈のお願い」

厚真ライオンズクラブでは青少年の健全育成を目的に、
今年も4月19日（火）から5月6日（金）までの期間、上厚真
地区パークゴルフ場横にこいのぼりの掲揚を予定してい
ます。毎年80匹ほどの、こいのぼりを掲揚していますが長
年の使用で傷みがひどく不足しています。ご家庭で不要にな
ったこいのぼりがありましたら、寄贈をお願いします。

平成23年度

苦小牧保健所が行う各種相談・検査など

総合保健相談

- ◆相談日 毎週月曜日～金曜日
(随時受け付けます※但し祝祭日を除く)

◆内容

保健、医療、福祉などに関する相談に応じ、必要なサービスについての情報提供を行います。

医療相談

- ◆相談日 毎週月曜日～金曜日
(随時受け付けます※但し祝祭日を除く)

◆内容

医療に関する相談や苦情を受け付け、解決の手助けをします。ほかの機関が担当する事項については、担当機関を紹介します。

■総合保健・医療相談共通

- ・相談日は、祝祭日を除きます。
- ・対象は、地域住民の方です。

こころの健康相談

◆相談日

1 定期相談

- ①精神保健相談 每月第1週目 偶数月が木曜日
(5月と1月は第3週目) 奇数月が火曜日
 - ②思春期精神保健相談 偶数月が原則第2週曜日
(10月は第3週曜日) 奇数月が第2木曜日
- ※①、②の各相談は、相談日の3日前までに予約が必要です。また、精神科医師または保健師が相談に応じます。

2 随時相談

保健師などが電話、来所などに対し、随時相談に応じます。

◆内容

こころの病気・思春期(不登校やひきこもり)に関することなどについて、専門医や保健師などによる相談を行います。

女性の健康相談

◆相談日

1 定期相談

- 毎月19日（土・日、祝日の場合は翌日）
9:00～17:00で予約が必要です。

2 随時相談

毎週月曜日～金曜日（祝祭日を除きます）

◆内容

平成20年12月1日から「女性の健康サポートセンター」を開設しています。これは、女性が女性特有の身体的特徴を有していることなどをふまえ、健康上の相談に応じるとともに健康の保持・増進、予防に関する情報を提供するものです。

相談は性感染症、妊娠、出産、子育てに関すること、思春期や更年期の心身に関する相談など、女性のライフサイクルに応じた相談に対応しています。

骨髄バンク登録

◆相談日

月2回相談日がありますが、日程については下記にお問い合わせください。所要時間は15～30分です。

◆対象となる方

骨髄提供の内容を十分に理解している方（必要な方には、ドナー登録のしおり『チャンス』をお渡します）で、年齢が18歳以上54歳以下、体重が男性45kg、女性40kg以上の健康な方

そのほかの検査など

肝炎ウイルス検査、HIV抗体検査（☎0144-35-7474エイズ専用電話）がありますのでお問い合わせください。

問い合わせ先

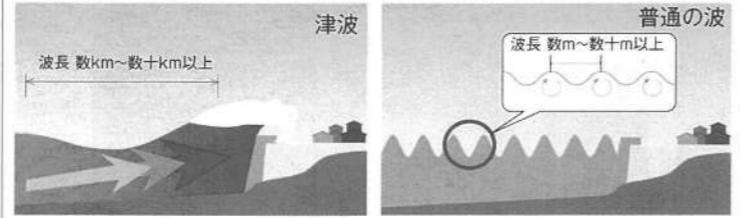
北海道苦小牧保健所 ☎0144-34-4168

「津波災害に備える」

大地震により海底が激しく変動したときに津波が発生します。津波は普通の波とは全く異なり、数千メートルの海底から海面までの海水を一気に押し上げる膨大なエネルギーを持ち、すさまじい破壊力があります。そのため高さ数十センチメートルの津波でも人は立ていられなくなり、1メートル程度の津波では木造家屋を破壊します。津波の発生が予想されたとき、気象庁は津波警報や注意報を発表します。震源に近いところでは津波警報の発表前に津波が来襲することもありますので、海辺で強い揺れを感じたらすぐに高い所へ避難しましょう。また、津波は繰り返し何度も押し寄せます。津波警報が解除されるまでは避難を継続し、絶対に海辺に近付かないようにしましょう。いざというときに慌てないよう、予め避難所を確認しておくなどの準備をしておきましょう。

（問い合わせ先：室蘭地方気象台 防災業務課 電話：0143-22-4249）

津波と波の違い



卓上ガスボンベなどを排出するときの穴あけ器を貸出します

卓上ガスボンベ、整髪料、殺虫剤などのスプレー缶は、中身を使いきってから屋外などの風通しの良い場所で穴をあけて「もやせないごみ」として排出することになっています。

卓上ガスボンベやスプレー缶に穴をあけて排出するのは、それらに残っていたガスなどが、ごみ収集車で圧縮され火災を起こすことを防ぐために行うものです。

町では、手の握る力で簡単に穴をあけることができる器具を総合ケアセンターゆくり（役場町民福祉課）と厚南会館（役場上厚真支署）に各2台設置しましたので、お気軽にご利用ください。

また、穴あけ器は町内の金物店や近郊のホームセンターで販売しています。



■問い合わせ先 役場町民福祉課町民生活グループ（☎26-7871）
または 役場上厚真支所（☎28-2311）

平成23年度北海道警察官採用試験のお知らせ

北海道警察では、第1回警察官採用試験を実施します。男性A区分（大卒等）、男性B区分（A区分以外）、女性A区分（大卒等）、女性B区分（A区分以外）あわせて240人を採用予定です。

■受験資格

◆昭和54年4月2日～平成6年4月1日生まれの方

■試験区分

A区分／大学（短大を除く）等

■受験申し込み受付期間

4月1日（金）～4月13日（水）

胆振民有林造林コンクール

最優秀賞に講神仁助さん（幌内）

胆振総合振興局が実施する平成22年度「胆振管内民有林造林コンクール」において、講神仁助さん（幌内）が山づくりに熱心に取り組む森林所有者として、表彰状が贈られました。胆振管内での受賞者は2人。

受賞林分は、幌内にあるカラマツ31年生、0.84ha。haあたり本数は533本、直径は27.9cm、樹高は23.1mです。

パークゴルフ協会の会員を募集しています

町パークゴルフ協会では、会員を募集しています。青空の中、一緒にさわやかな汗を流しませんか。

■年会費

1人2,000円

■申し込み期限

4月30日（土）

■申し込み・問い合わせ先

町パークゴルフ協会事務局
(☎27-2147)

（道内各試験会場で実施）

5月8日（日）

■試験日

■交番・駐在所・警察署で配布しています。

■問い合わせ先 苦小牧警察署
(☎0144-35-0110)

■採用案内フリーダイヤル
(☎0120-860-314)

■警察本部、苦小牧警察署のホームページにも掲載されています。

■願書配布 交番・駐在所・警察署で配布しています。

雪だけにともない、ごみステーションボックスの地盤が緩み、ボックスの前方が沈みタフが落ちやすくなるため土台を直し、ごみを入れる時はタフをしっかりと開けてごみ袋を入れてください。

ごみステーションボックスの管理は各自治会となっています。破損などがあった場合は、自治会役員へ連絡してください。また、町では破損などにより修理を要した費用について助成制度がありますので、その場合は役員から町へお問い合わせ下さい。

■問い合わせ先 役場町民福祉課町民生活G ☎26-7871

ごみステーションボックスふたに気をつけて

5月3日（火）から5月5日（木）までは、ごみ収集を休みます。自己搬入の受け付けも休みとなりますのでご協力をお願いします。

安平・厚真行政事務組合 ☎22-3151

5月の運転免許証更新時講習の日程

苦小牧交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習（優良）の日程をお知らせします。

◆午前10時30分：2日（月）、6日（金）、11日（水）、12日（木）、開講 13日（金）、19日（木）、20日（金）、25日（水）、27日（金）、31日（火）

◆午後1時30分開講：9日（月）、30日（月）

◆午後3時30分開講：10日（火）、26日（木）

※このほかの講習日程（一般、違反、初回）については、下記までお問い合わせください。

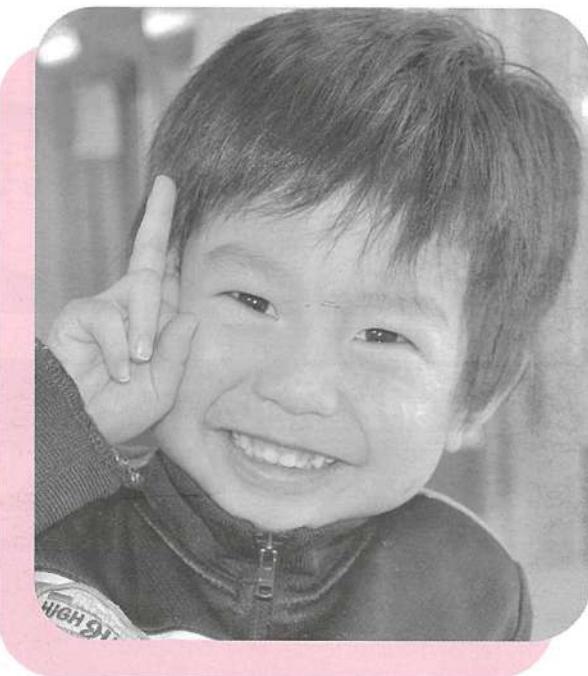
※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。

■問い合わせ先 ㈳苦小牧地区交通安全協会（☎0144-33-1458）

おかざわ こうた
岡澤 宏太くん
H 20・2・15 生
父—亮二さん
母—恵さん
(上厚真)

●—わが家のアイドルはこんな子です。●

「明るくてお調子者。でも、さびしがり屋で甘えん坊な一面も。お兄ちゃんとよくブロックで遊んでますね。いろんなものを上手に作るんですよ。1番好きなアニメは『トムとジェリー』です！」



まえかわ さとる
前川 暁くん
H 20・2・19 生
父—護さん
母—美里さん
(本郷)

●—わが家のアイドルはこんな子です。●

「いつも笑顔。その笑顔を見ると親である私たちには頑張りますね！憧れの存在は『統兄ちゃん』。最近は野球に興味を持ち始め、お父さん、お兄ちゃんとキャッチボールをして遊んでいますね」

■今月の表紙

厚真中学校女子バレー部が、苫小牧市で行われた地区大会で優勝を飾り、見事全道大会の切符を勝ちとりました。全道大会は5月3日～5日の日程で、芦別市で開催されます。現在選手は猛特訓中、一昨年のベスト8を上回るベスト4が目標です。周囲の期待も高まっています。

■今月の内容

『厚中バレー部』特集

平成23年第1回定例議会

まちの話題

I LOVE厚真人

みんなの広場

まなびや

健康情報・ほけんの掲示板

情報ひろば

2011年4月

H 23 NO. 704

3月末現在の人口

4,870人(前月比-8)

男 2,386人／女 2,484人

世帯数 2,046(前月比+7)